

テーマ
マルコスにビデオレターを送ろう！
目標
<p>学習指標：2～3</p> <p>就職が決まってお別れすることになった ALT (Assistant Language Teacher) マルコスに向けて、お祝い、お別れ、感謝の気持などを動画で伝えられる。</p>
コミュニケーション能力指標
<p>人1-a 人との付き合いでよく使う基本的な挨拶表現（初対面、感謝、謝罪、断りなど）を言ったり、聞いて理解したりできる。</p> <p>人1-e お祝いの気持ち（おめでとう、頑張ったねなど）を、口頭でまたは書いて伝えることができる。</p> <p>人1-f 招いたり招かれたりするときに交わす基本的な表現を、言ったり、聞いて理解したりできる。</p> <p>人1-g 相手のこと（性格、特技など）を、口頭でまたは書いて褒めることができる。</p> <p>学3-a 学校生活で感じていること（楽しいことや大変なことなど）について語り合ったり、書いて伝えあったりできる。</p> <p>学3-b 先生がどんな人（外見や性格など）か、口頭でまたは書いて説明できる。</p>
学習シナリオ
<p>〈場面状況〉</p> <p>S高校の生徒たちは、約2年間を共に過ごしたマルコスから突然、就職が決まりもう登校できないという旨のビデオレターを受け取りショックを受けた。そこで、自分たちの今の気持ちを伝えるために動画「¡Adiós, Marcos!（さよなら、マルコス!）」を作成して通信することにした。</p>
<p>〈活動の流れ〉</p> <p>① <u>受け取ったメッセージの理解</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Youtube にアップされたマルコスからのビデオレターを字幕なしで見て、意味が理解できるところを探したり、内容を想像したりする。その後、同じ動画を日本語、スペイン語字幕つきで見る。 ・ スクリプトを配布し、既習の文法事項を確認し、未習事項は教科書のどこにでているかを確認し、とりあえず意味を理解するにとどめる。 ・ 教科書は適宜とりあつかう順番を変えて、理解に必要な章から学習する。 <p>② <u>個人のメッセージ作成</u></p> <p>マルコスに対する自分の気持ちを短くまとめたメッセージをスペイン語で作成^{*1}、 “Adios, Marcos. Un abrazo de +自分の氏名.”という表現で締めくくった10～50秒のほどの動画を一人ずつ作る。字幕もそれぞれスペイン語でつける。</p> <p>③ <u>グループとしてのメッセージ作成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループに別れて、街で見つけたスペイン語の言葉またはフレーズを書き出す。

作成者:政岡潔子/坂戸高校非常勤講師(スペイン語)

- ・ そのうちの一つを選んで、それを元にグループで一つのダイアログを作る*²。ナレーションや登場人物などの配役を決める。
- ・ 自分たちが作成したダイアログを暗記する。
- ・ リハーサルを行う。教師と新任 ALT が表現や発音を指導する。
- ・ クラスメートの前で発表する。発表する前にセリフは板書してクラス全体で意味を理解する。先に日本語で発表をしたあと、スペイン語で発表する。発表は交代で生徒が撮影する。
- ・ 担当を決めて動画に字幕を付ける。
- ・ “Adios, Marcos del grupo+グループ名”とタイトルをつけた動画を Dropbox に提出する。
- ・ 提出された動画は教師がつなげ、Youtube*³ に一部公開でアップし、マルコスを含めた皆で共有する。

*¹ 教科書で既習文法を見直したり、辞書を使ったり、教師や ALT に尋ねたりしながら自分の気持ちをスペイン語にする。スペイン語にできない場合は、日本語をスペイン語にしやすい表現に変える工夫をしてスペイン語の原稿を作る。また、教科書は適宜とりあつかう順番を変えて、必要な章から学習する。

*² 結末から作るとオチのあるおもしろいストーリーが作りやすいと指導する。

*³ Youtube には掲示期限がないので、教師が削除しない限り、生徒たちは卒業後もアクセスして何度でも閲覧することができ、学習を続けるモチベーションの持続に寄与するのではないかと期待する。

最後に行う活動、成果物

- ・ 三年生最後の授業日である 1 月 20 日にお別れ会を兼ねたビデオ鑑賞会を実施。新しい ALT に簡単なスペイン語で感想をもらった。生徒たちは労をねぎらったり褒めたりする生きた表現に触れた。各自、振り返りのアンケート用紙に記入したあと、クラス全体で面白かった点、難しかった点を話し合う。
- ・ 成果物：マルコスへのビデオレター

「外国語学習のめやす」マスター研修 2015_実践課題

作成者:政岡潔子/坂戸高校非常勤講師(スペイン語)

学習項目と3×3+3の対応

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ表現を理解する 別れのメッセージを理解する 悲しい気持ちの表現を理解する メッセージの結びの表現を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 街にはスペイン語が溢れていると気づく(車の名前、レストランの名前、お菓子の名前など) 	<ul style="list-style-type: none"> 街にあふれるスペイン語を探すことで、日本でスペイン語が効果的に利用されている例に触れる 一人ではできないことが、クラスメートと協力するとできると知る
できる	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ表現ができる 別れのメッセージを作ることができる お祝い、感謝の気持ちの表現できる メッセージの結びの表現を作ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 街に溢れているスペイン語を探すことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ナレーションや配役決定についてメンバー間で話し合える 積極的に仕事を引き受けることができる スマートフォンでビデオを撮影できる 動画に字幕をつけることができる センター試験など重要な試験が迫っている中で、有効に時間を使うことができる
つながる	<ul style="list-style-type: none"> ダイアログの作成過程で相手の言うことに反応する 新しいALTに自分たちのメッセージを見せ、それについての反応を受け取る 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットでスペインの情報を探することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 離れていてもビデオでメッセージが交換できることを体験する スマートフォンで情報を探す(音楽など) Dropboxに提出物をアップする 動画がアップされたサイトにアクセスして自分たちの動画やALTのコメントの動画を後で見返す
三連携	関心・意欲・態度/学習スタイル	<ul style="list-style-type: none"> 自分の想像力や語学力をもってダイアログ作成に参加する 情報検索、字幕つけ、教師とのメール通信など、自分に出来ることでグループに貢献する 効果的にビデオメッセージを作る工夫をする 	
	既習内容・経験/他教科の内容	<ul style="list-style-type: none"> 既習文法事項、表現、語彙など 韓国語と韓国の文化(韓国国籍の生徒より) 自分たちで作ったダイアログを発表する際の演技力 	
	教室の外の人・モノ・情報	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンでの検索とビデオ撮影 	

□ 総括的評価のポイント

- 1.街にあふれるスペイン語を見つけられたか。
- 2.自分の気持ちがマルコスに伝わる個人メッセージが作れたか。
- 3.マルコスに送ることを念頭に、街で見つけたスペイン語を含めたダイアローグを工夫して作ることができたか。
- 4.個人ビデオの録画は、マルコスのことを考えながら収録できたか。
- 5.グループダイアローグは、マルコスや聞いているクラスメートのことを意識して発表できたか。
- 6.クラスメートと協力できたか。

□ 総括的評価のための活動の指示文

- 1.マルコスにもらったビデオメッセージへの返事となるビデオレターをスペイン語で作りましょう。その際、先に配布する「活動のふりかえり表」の内容に気をつけて作ってみましょう。
- 2.ビデオは2部構成にして、次の手順で作りましょう。

1) 個人メッセージ

- ・ 授業中に、教科書やALTとの会話の中から、今まで習った表現を総動員して自分の言葉で気持ちが伝わるメッセージをスペイン語で作ってみましょう。
- ・ 必要な場合はロシア（新ALT）や先生に聞いてみましょう。
- ・ 原稿ができたならメールで先生に送って、スクリーンでクラス全員でチェックしてみましょう。
- ・ クラスメートと協力して携帯でメッセージを録画してスペイン語で字幕をつけましょう。
- ・ Dropboxに期限までに動画をアップしましょう。

作成者:政岡潔子/坂戸高校非常勤講師(スペイン語)

2) グループダイアログ

- ・ 各々が街で見つけたスペイン語のなかから一つ選んでマルコスがふっと笑ってしまうようなオチがあるダイアログをスペイン語で作ってみましょう。
- ・ 始めにオチを考えて、そこから話を組み立てるとうまく作れます。
- ・ 書記を決めて、書き留めた原稿をメールで提出しましょう。
- ・ 配役やスペイン語字幕をつける人を決めましょう。
- ・ 発表兼合同撮影日に向けてダイアログを記憶・練習しましょう。
- ・ 発表兼合同撮影日には、まずダイアログの日本語とスペイン語を板書して、リハーサルをしてから発表しましょう。発表グループの字幕担当者の携帯を使って、グループ間でお互いに撮影しましょう。
- ・ 撮影した動画は字幕をつけてDropboxに期限までに動画をアップしましょう。

□ 学習者の特性にとくに配慮した点

1. 撮影したり動画を編集したりするための携帯電話を持っている生徒は、持っていない生徒を助けてお互いに協力するように伝えた。

		目標以上を達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達までもう一步 (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
個人メッセージ	内容	たくさんの方が気持ちを込めて伝えられていた。	多くはなかったが簡潔で分かりやすい内容だった。	たくさんあったが、まとまりのない内容だった。	内容が少なく、分かりにくかった。
	創意工夫	まとまっていたし、思いを伝えるための工夫があった。	伝えたい内容をうまくまとめて伝えられていた。	伝えたい内容はわかったが、暗記した文章を読んでいるだけみたいだった。	言いたいことがよくわからなかったし、暗記した文章を読んでいるだけみたいだった。
	声	ハキハキと大きな声で話していてわかりやすかった。	ハキハキ話そうという努力が見られた。	声は小さくなったところもあった。	声が小さく、口ごもって話していてわかりにくかった。
	パフォーマンス	メモをほとんど見ないで、生き生きとしたスムーズな話し方で聴く人の興味を引いた。	ときどき話が途切れたり、メモを見たり、速度が落ちることがあったが、全体的に、気持ちを伝えようという努力があった。	途切れること、メモを見るが多かったが、その他の部分では気持ちを伝えようという努力があった。	途切れることやメモを見るが多かった。話し方も単調でメリハリがなかった。
グループダイアログ	内容	必要な内容(街でみつけたスペイン語1つ)より多くのことを想像力を使って楽しく表現できていた。	目標に適切な内容(街でみつけたスペイン語1つ)をカバーできており、想像力を使って表現できていた。	目標に適切な内容(街でみつけたスペイン語1つ)をカバーできていた。	目標に必要な内容(街でみつけたスペイン語1つ)をカバーできていなかった。
	構成	話の展開を順序立ててはっきりと表現しており、うまいオチがついていた。	話のつながりが曖昧になった部分もあったが、オチはつけられていた。	全体的に話のつながりは曖昧だったが、オチはつけられていた。	話のつながりが曖昧だったし、オチもうまくついていなかった。
	理解度	字幕がなくても、理解できた。	字幕がうまくついていたので、理解できた。	字幕がついていたが、十分に理解できなかった。	字幕がついていなかったし、理解できなかった。
	パフォーマンス	生き生きとしたスムーズなやりとりで聴く人の興味を引く話し方ができていた。	ときどき速度が落ちることがあったが、会話は途切れずに続き、聴衆の方も見ていた。	頻繁に台詞を間違えたり、速度が落ちることがあったが、会話を続けようという努力をしていた。	意味を考えるより、黒板を見て、ただセリフをスペイン語で話していた。
	協力	各々ができることでグループに協力しながら助け合っていた。	各々が、できることでグループに協力していた。	結局、作業の分担が偏っていたが、助け合う姿勢が見られた。	作業の分担が偏っていたし、助け合いも見られなかった。
	貢献	各々が積極的に活動に貢献しようとしていた。	皆が約束を果たし、責任ある行動をしていた。	催促されなければ行動しない人もいたが、一緒に活動しようと呼びかけた。	催促されても行動していなかった人がいたが、そのままにしておいた。

個々のタスク	小目標	中目標	大目標	テーマ
Youtubeにアップされたマルコスからのビデオレターを字幕なしで見て、意味が理解できるところを探したり、内容を想像したりする。	よく知っている人が自分たちに向けてスペイン語で話している動画を字幕なしで理解を試みる。	自分たちに向けられたスペイン語のメッセージ動画を理解する。		
スクリプトを配布し、既習の文法事項を確認し、未習事項は教科書のどこにでているかを紹介し、とりあえず意味を理解するにとどめる。	動画のスペイン語字幕から理解を試みる。			
メッセージの内容を理解し、返答メッセージ作成に備える。	動画の日本語字幕から理解する。			
車やお菓子、レストラン、その他の名前で、知っている単語やスペイン語特有の音をもつ単語などに見当をつけ、辞書で調べる。	スペイン語の単語の音の特徴を意識する。	街にあふれるスペイン語を見つける。		
与えられたHPから始めて、インターネット検索で調査する。	必要な情報の探し方を知る。			
【形成的評価】見つけた言葉とそれがどのように使われていたのかを書いて提出する。(ALT離職のニュースが届く前から出されていた夏休みの宿題)				
既習文法、表現、語彙を使って、辞書を使いながら自分の言葉でメッセージを書く。	挨拶したり、お祝い、お別れ、感謝の気持などを表現した個人メッセージを作成する。	自分の気持ちが相手に伝わる個人メッセージの動画を作る。	就職が決まってお別れすることになったALT (Assistant Language Teacher) マルコスに向けて、お祝い、お別れ、感謝の気持などを動画で伝えられる。	マルコスにビデオレターを送ろう！
表現したくてわからないことがあれば、ALTや先生に尋ねる。				
【形成的評価】作成したスペイン語メッセージを日本語とともに提出する。				
マルコスのことを想いながら携帯でメッセージを友人と撮影しあう。	友人と協力して個人メッセージ動画を作成する。			
ñ,óなど特殊文字も出せるように携帯を設定して字幕をつける。	動画にスペイン語字幕をつけてオンラインストレージに提出する。			
Dropboxに作成した動画をアップする。				
【形成的評価】作成した字幕付き個人メッセージ動画を提出する。				
夏休みに各自が探した街にあふれるスペイン語の中から各グループ一つを選ぶ。	街で見つけたスペイン語を含めたオチのあるダイアログをスペイン語で作成する。	街で見つけたスペイン語を含めたグループダイアログの動画を作る。		
グループで協力しながら、結末からさかのぼって、選んだ語を含めたダイアログをスペイン語で作る。				
【形成的評価】作成したスペイン語メッセージを日本語とともに提出する。				
配役や字幕つけ係、他のグループを撮影する係を決める。	グループ作業の中で、自分が貢献したいこと、自分にできることは何かを考える。			
ダイアログを記憶する。	他のグループを撮影することによって、カメラに収めた時に必要なパフォーマンスについて考えたり、リハーサルを通して、発表で聴衆を意識したパフォーマンスができるようになる。			
発表当日、クラスメートに内容がわかるように、ダイアログをスペイン語と日本語で板書する。 板書をできるだけ見ないで、リハーサルをし、グループ間で交代でそれを撮影する。				
グループダイアログを発表し、グループ間で交代でそれを撮影する。	動画にスペイン語字幕をつけてオンラインストレージに提出する。			
ñ,óなど特殊文字も出せるように携帯を設定して字幕をつける。				
Dropboxに作成した動画をアップする。				
【形成的評価】作成した字幕付きグループダイアログ動画を提出する。				
【総括的評価】個人メッセージとグループダイアログの動画の内容構成、発表パフォーマンス、字幕の正確さなどを考慮に入れて評価する。				